



## 生きた英語を満載した辞書



西川眞由美

最近、経済をはじめとするさまざまな分野でのグローバル化の進展に伴い、世界共通言語としての英語のニーズが高まりつつある。それに伴い、教育現場でも、従来の読み書き中心の英語から、コミュニケーション重視の、実際に使える英語教育が求められるようになってきた。こういった現状を受け、新しく生まれかわった『ジーニアス和英辞典』第3版には、英作文のみならず英会話でもすぐに使える生きのいい用例が随所に収録されている。このコラムでは、辞書の真髄ともいえる用例執筆の仕事を振り返りながら、私自身が特にこだわった点などについて紹介しよう。

まず、語用論（文脈の中で決定される意味の研究）の要素をできるだけ取り入れた。全ての語彙に関して、どのような文脈で主に使用されるのかを徹底的に調べ、しっかりと絞り込んで一つ一つの用例が作成されている。また、今回は特に会話例を大幅に増やし、充実させるようにした。例えば、「せわしない (restless)」という日本語の場合、もちろん「せわしないやつ」という句用例、あるいは「あいつはせわしないやつだ」という文用例を載せておけばそれで済むかもしれない。しかし、それだけではどうも芸がない。この語は、話し手の否定的な評価が入った主観的な判断を表出するために使用される。したがって、目の前の相手に向かって言うことも多いのではないか。しかし、それでもまだ物足りない。その主語や被修飾語となる物事や人がその特性を持つことにより、話し手が迷惑を被っている状況で使用されるのなら、後に何か付け加える方が自然なのではな

いかと考えた。その結果、「せわしないやつだな。落ちついてやれよ (You are always busy [restless]. Take it easy.)」としたわけである。また、こうすることで、ひと続きのまとまった表現としてさまざまな場面で使えるのである。

「役に立たず (useless)」にも同じことが言える。この語が、「役に立たない」という冷静な表現と異なるニュアンスを持っていることをどうしたら伝えられるだろうか？ 主語を「あいつ」という軽蔑語にするのもひとつ。しかし、やはり目の前の相手に向かって吐く暴言「この役に立たず! (You good-for-nothing!)」がベストではないか。ここでは、使用状況を考慮し「もういいよ! (Forget it!)」という前言を付け加えた。そうすることによって、その語が用いられる文脈を鮮やかに思い浮かべることができると思ったのである。

さらに、ネイティブライクな英語の表現を充実させるため、「慣用連語」という概念をできる限り取り入れた。語彙はあるときは強く、またあるときにはゆるやかな共起関係の中で使用されており、何かを言いたいときにはある程度決まった表現がある。例えば、「彼は単なる友達よ」「とか何とか言っちゃって、彼のこと本当は好きなんですよ」(“He is just a friend.” “That’s what you say, but I know you’re in love with him.”) や「やせるために一日一食しか食べないようにしてるの」「そりゃやりすぎだよ」(“I eat only one meal a day to lose weight.” “That’s taking it a bit too far.”) の下線部がそうである。このような日本語は、そのまま語彙レベルで一対一で対応

させて作文することは不可能である。つまり、「こういうとき、英語ではこのように表現するんだ」という情報を入れるしかない。

しかし、どんな用例で示せばよいのだろうか？「とかなんとか…」はやはり、恋愛話で相手を冷やかす例がマッチするだろう。「やりすぎ」はダイエットや買い物、子供や生徒の叱責において度が過ぎた場面でよく使われるのではないか。かくして、これらの語のニュアンスを十二分に表現できるやり取りや状況を考え続ける悩ましい日々が続くのである。

最近特に使用頻度を増してきた日本語表現もたくさん取り入れた。「めちゃくちゃ(な) (outrageous, unreasonable)」というこの日本語は、もともと「まるで道理に合わない、程度がはなはだしい」という否定的な意味を持つが、近年特に若者たちの間では肯定的な評価に対する強意詞として用いられることも多い。「君が来てくれてめっちゃくちゃうれしいよ (I'm awfully glad that you came here.)」でその典型例を示した。

今私が興味を持っている間投詞や談話標識(DM)も用例の中にふんだんに散りばめた。「ねえ、このセーター半額になってるよ (Look! This sweater is half-price [50% off] now.)」。「あの店のイタリアンとても美味しかったよ」。「ね、私が言ったとおりでしょ」(“The food in that Italian restaurant was wonderful.” “See? I told you.”)。「昨日、彼に告白したの」「で、返事はどうだった？」(“I told him that I loved him last night.” “So, how did he respond?”)。どれも平凡な文用例だけれども、「ねえ」「ね」「で」を入れた瞬間、用例が輝きを増すのがわかるだろう。普段の自然な会話を考えたとき、話し手の微妙な思いを伝えているのはやはりこういった小さな言葉なのである。

日本語用例とその英訳文は、その後ネイティブスピーカーによって入念にチェックされる。長期にわたった本辞典執筆の間、私は才能と個性に溢

れた3人のネイティブと一緒に仕事をする機会を得た。彼らと何度も意見を交換し、英語用例を磨いていったプロセスはストレスに富むものであったが、新たな発見に満ちた素晴らしい経験だった。一人目は、常に世の中の現実をシニカルに見つめ続けるロマンチストだった。彼の信念はそのまま用例の英訳の中に生きている。二人目は、「これまで出会った中で最も知的な人間の一人」として友人から紹介された人物だが、修正された英語やコメントを読み返しながら、その言葉が真実であることを何度も思い知らされた。その後、3人目のネイティブとも素晴らしい仕事を共にすることができた。

本辞典執筆の最中(2009年9月)、私は一人目のネイティブ・チェッカーを失った。彼は、私の大切な友人であるとともに、亡くなる1か月前まですさまじい量の仕事を一緒に進めてくれた同志でもあった。溢れる涙をぬぐいながら、“Show must go on.”と執筆を進めた日々。いつかまた、天国でピアスの『悪魔の辞典』を肴におしゃべりできたらと思う。

今、やっと完成した辞書を前に、過去と未来が交錯する不思議な感覚に襲われている。費やした日々への懐かしさがこみ上げてくると同時に、この辞書がたくさんの人々の目に触れる「これから」が思い浮かぶ。生きた英語用例が充実した新しい『ジーニアス和英辞典』。この辞書が、英語学習者だけでなく、英語を使う多くの人たちに参照され、いつまでも愛されますように。そして、一つでも多くの用例を「今度使ってみよう」と思ってもらえたなら何よりも幸せである。

(にしかわ まゆみ・摂南大学外国語学部准教授)